

意見聴取結果記録書

内 容	地域再生計画の事後評価における意見聴取
学識経験者	所属 足利大学工学部創生工学科 建築・土木分野 建築学コース 氏名 藤谷 英孝 講師
意見聴取日時	【意見聴取会議】令和4年3月24日（木） 午前10時から10時40分 まで
意見聴取結果	<p>【指標① 観光交流の活性化】についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客数の最終目標値を達成してないが、新型コロナウイルス感染拡大防止による移動等の制限が解除された後にも、確認する必要がある。 ・昨年、大学で実施したアンケート調査では、観光客の足利市までの移動手段として、自動車利用が多かったことから、主要な観光地である中心市街地へのアクセス道路整備は、観光交流の活性化において重要となる。 ・アンケート調査結果で、中心市街地における駐車場整備、駐車場の位置情報の不足も回答されていたため、観光地化の課題として指摘できる。 <p>【指標② 人口減少の抑制】についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域再生計画における目標設定人口について、全市域で設定されているが、道路整備した周辺人口推移の観点も指標として考えられる。 ・今後、足利市で実施されている他の施策との連携を図ることにより、事業を展開することで、人口減少の抑制に対応することが望まれる。 <p>【各路線の進捗状況】についての意見</p> <p>(1) 鹿島山下通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備は完了しているが、観光客の中心市街地へのアクセス道路だけではなく、山前地区における南北方向の主要道路としての役割もある。 ・交通量調査で、他県の観光客・県内ナンバーかで、観光客と住民の通行者を判断することで、今後の施策に反映することも出来る。 <p>(2) 五十部町4号線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足利赤十字病院や通学路として重要な路線であり、課題であった踏切工事の実施目途が立ったことは、整備完成に向けて評価できる。 ・今後も JR 東日本と協議のうえ、計画的に進めることが求められる。 <p>(3) 江川利保通り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地買収はほぼ完了しているが、今後実施する工事でも通学路の安全確保に重要な路線整備であることを、地域住民に周知することで協力を得ながら、事業を進めることが必要となる。

(4) 三重小俣通り

- ・道路舗装の劣化が激しい箇所や、人と自動車の交通量の多い場所を優先的に修繕することが効果的であり、今後の維持管理においても有効となる。

(5) 大岩月谷線

- ・迂回路、観光ルート、災害時の避難路、輸送路としても重要な路線なので、今後も適切な維持管理が不可欠である。

【地域再生に関する視点】 についての意見

- ・今回の地域再生計画では、足利市中心市街地までのアクセス向上がなされているが、今後、中心部でのウォークアブルシティ・歩いて健康となる街づくりを推進することで、観光地化、人口減少抑制が期待できる。
- ・中心市街地における具体的な課題としては、駐車場整備・位置情報の発信、人と自動車の利用する道路整備の交通計画などがある。
- ・昨年のアンケート調査では、近隣県・日帰りの観光客が多い傾向にあったことから、地域資源を活かして、特産品、飲食・宿泊業など、地域産業と協働しながら事業展開することが、地域再生において大切であろう。